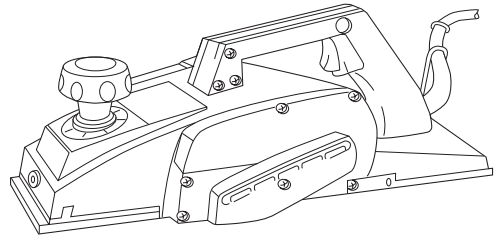


# Makita

## 取扱説明書

## 電気カンナ

136mm モデル **1804N**  
(2スピード)  
155mm モデル **1805N**



本製品はシングル絶縁構造ですので必ず接地（アース）してください。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは電気カンナをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ カンナ安全上のご注意	10
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 使い方	15
・ 切削深さの調節	15
・ カンナ刃の取り付け・取りはずし方	15
・ 研磨式	16
・ カンナ刃の研ぎ方	17
・ 刃高調整方法	18
・ ブレードゲージ式刃高調整方法	18
・ カンナ刃の取り付け方	19
・ セットスクリュ式刃高調整方法	20
・ 調整ネジによる刃高調整方法	20
・ 替刃式	21
・ カンナ仕様の変更について	23
・ スイッチの操作	23
・ スピード切り替えスイッチの操作（モデル 1804N）	24
・ 削り方	24
・ 保守・点検について	25
・ カーボンブラシの交換	25
・ ご修理の際は	26

# 主要機能

モデル	1804N	1805N
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100 V	
電流	12 A	
周波数	50-60 Hz	
消費電力	1,140 W	
回転数	高速 16,000 min <sup>-1</sup> (回転 / 分) 低速 12,000 min <sup>-1</sup> (回転 / 分)	15,000 min <sup>-1</sup> (回転 / 分)
最大切削幅	136 mm	155 mm
最大切削深さ	3 mm	
全長	450 mm	
質量	7.8 kg	7.9 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- |   |  |
|---|--|
|  <b>警告</b> | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。   |
|  <b>注意</b> | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。<br>なお  <b>注意</b> に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  <b>注</b>  | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。   |

## ⚠ 警告

### 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
  - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
  - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
  - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
  - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときには、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
  - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

### 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
  - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
  - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
  - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
  - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
  - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
  - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

## ⚠ 警告

### 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
  - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
  - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
  - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
  - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
  - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

### 電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
  - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

## ⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・ 本製品の調整
  - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
  - ・ 保管、または修理
  - ・ 電動工具から離れるとき
  - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
  - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
  - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
  - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
  - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・ 電源コードは定期的な点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的な点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
  - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
  - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
  - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
  - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や本製品の操作を理解していない方には使用させないでください。
  - ・ けがの原因になります。
12. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

## ⚠ 警告

### 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
  - 本製品を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
  - 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
  - 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
  - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
  - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

### その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

  - 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - 電源コードに深いキズや変形がある。
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
  - スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
  - 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
  - 感電の恐れがあります。



## ⚠ 警告

### 5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- 延長コードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm <sup>2</sup>	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### ●騒音防止規制について

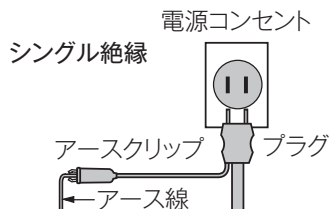
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、カナとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

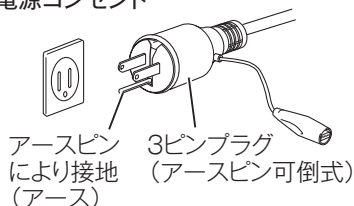
### 1. 必ず接地（アース）してください。

- 故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
- 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。



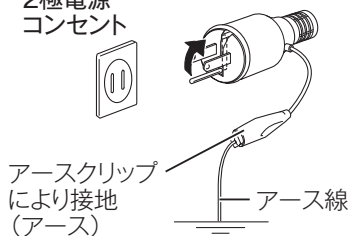
- アース付（3ピン）電源コンセントの場合 3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください（アースクリップによる接地（アース）は不要）。

### アース付（3ピン）電源コンセント



- 2極電源コンセントの場合 アースクリップをアース線に接続してください。
- アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと機械本体の金属（外郭部）間の導通を確認してください。

### 2極電源コンセント



- アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをお奨めします。
- 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。  
※労働安全衛生規則 第333条・第334条  
 電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条

### 2. アース線をガス管に接続しないでください。

- 爆発の恐れがあります。

### 3. つなぎコードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。

- アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。

## ⚠ 警告

4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
5. 使用前に、カンナ刃取り付けボルトが十分に締まっているか常に確認してください。
  - ・ 締め付けが不十分ですと、けがの原因になります。
6. 使用中は、本体を確実に保持してください。
  - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
7. 使用中は、切粉排出口に指などを入れしないでください。
  - ・ 回転しているカンナ刃に触れ、けがの原因になります。
8. 材料を手にとっての切削はしないでください。
  - ・ カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
9. 本体を万力などで保持して、カンナ刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
  - ・ カンナ刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。
10. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
  - ・ 台が不安定ですと、けがの原因になります。
11. 木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
  - ・ 刃物を破損させ、事故の原因になります。
12. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
13. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

1. カンナ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・ けがの原因になります。
3. カンナ刃の取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
  - ・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
4. 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。
  - ・ カンナ刃に触れ、けがの原因になります。
5. ベルトカバーの底面は、ベルトが覆われていないので、使用中、手などを近づけないでください。
  - ・ ベルトに触れ、けがの原因になります。
6. カンナ刃の交換や刃高調整後は、カンナ刃取り付けボルトを十分に締め付けてください。
  - ・ ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
7. スイッチを切った後も、惰性で回転しているカンナ刃に注意してください。
  - ・ 手などが触れると、けがの原因になります。
8. 回転中のカンナ刃にコードを接触させないでください。
  - ・ 感電の原因になります。
9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
  - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
10. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
  - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

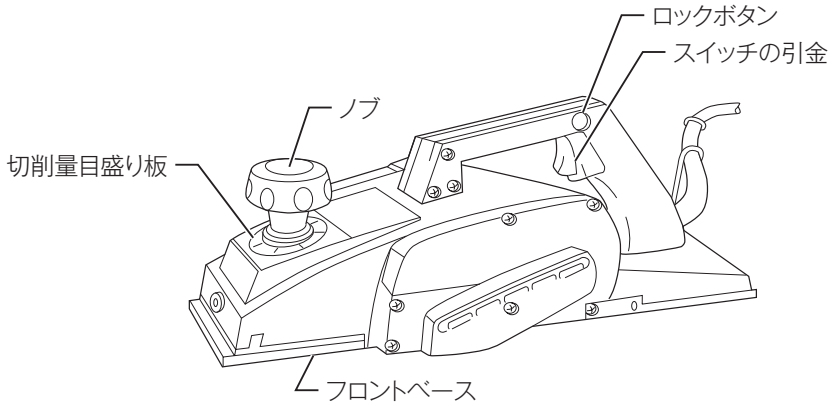
## 注

- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ つなぎコードは本製品のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。


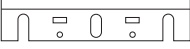

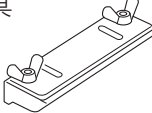
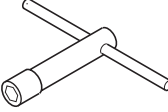
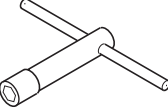
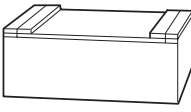
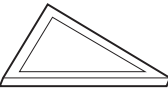
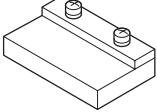
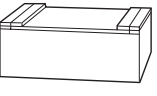
使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
0.75 mm <sup>2</sup>	20 m	—	—
1.25 mm <sup>2</sup>	30 m	15 m	10 m
2.00 mm <sup>2</sup>	50 m	30 m	20 m

# 各部の名称および標準付属品



## 標準付属品

替刃式仕様	研磨式仕様
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カンナ刃 (本製品取付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カンナ刃 (本製品取付)</li> </ul>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カンナ刃 (予備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ⊕平小ネジ M5 × 13 (4本)</li> <li>・ 刃研ぎ保持具</li> </ul>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボックスレンチ 9</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボックスレンチ 9</li> </ul>
	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 木箱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三角定規 (モデル 1805N)</li> </ul>
	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブレードゲージ</li> <li>・ 木箱</li> </ul>
	 

## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

- ・ 研磨式カンナ刃 (2枚1組)  
部品番号：A-27551 (モデル 1804N)  
部品番号：A-20878 (モデル 1805N)



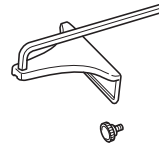
- ・ 研磨式超硬カンナ刃 (2枚1組)  
部品番号：A-20862 (モデル 1804N)  
部品番号：A-20844 (モデル 1805N)



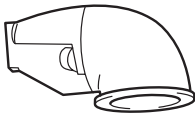
- ・ 替刃式カンナ刃 (2枚1組)  
部品番号：A-17049 (モデル 1804N)  
部品番号：A-17164 (モデル 1805N)



- ・ 移動定規 (ガイドルール)  
部品番号：191454-3

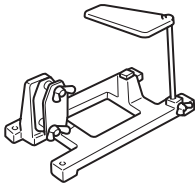


- ・ ノズルアッセンブリ  
部品番号：JPA122198 (モデル 1804N)  
部品番号：JPA122197 (モデル 1805N)



- ・ ノズル 70-3 アッセンブリ+ ジョイント 70 (モデル 1804N)
- ・ ノズル 70-2 アッセンブリ+ ジョイント 70 (モデル 1805N) (当社集じん機に接続してご使用できます。)  
ノズル 70-3 部品番号：JPA122278  
ノズル 70-2 部品番号：JPA122277  
ジョイント 70  
部品番号：181575-9

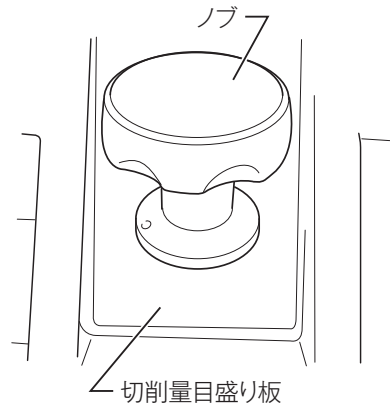
- ・ スタンド  
部品番号：JPA122241



# 使い方

## 切削深さの調節

- 一度で削れる深さは 0 ～ 3 mm までです。  
お使いになる前に削りたい切削深さにセットしてください。  
切削深さの調節は、ノブ（前部の握り）を回して切削量目盛り板に目印を合わせてください。



## カンナ刃の取り付け・取りはずし方

### ⚠ 警告

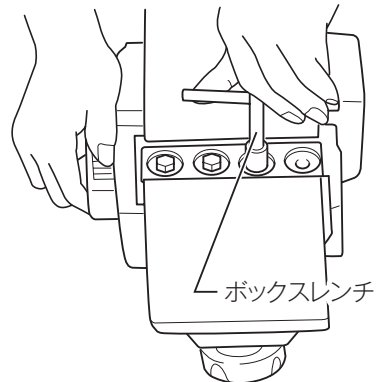
カンナ刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

### ⚠ 注意

カンナ刃締め付けボルトは付属のボックスレンチ 9 で十分締め付けてください。

- ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。
- カンナ胴の 4 本のカンナ刃締め付けボルトを付属のボックスレンチで取りはずします。



# 使い方

## ⚠ 注意

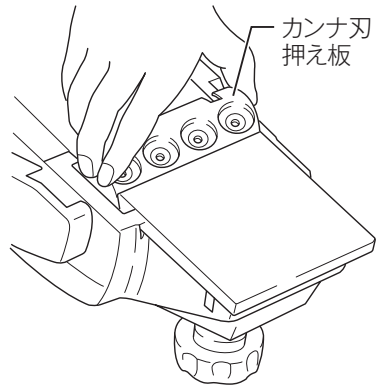
カンナ刃を取り出す際には、カンナ刃の両端をつかむように取り出してください。

- ・ 直接刃先に触れますと、切り傷の原因となります。

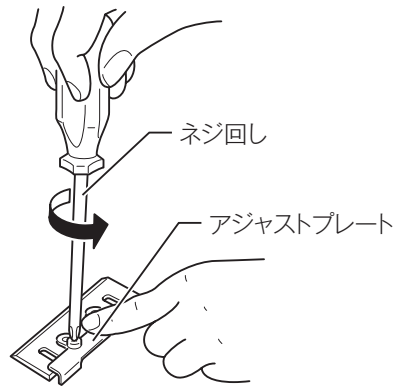
## 研磨式

### カンナ刃の取りはずし方

- ・ カンナ刃押え板と一緒にカンナ刃を取り出します。もう一組のカンナ刃も同じ要領で取りはずしてください。



- ・ カンナ刃に取り付いているアジャストプレートをお手持ちのネジ回しで取りはずします。





# 使い方

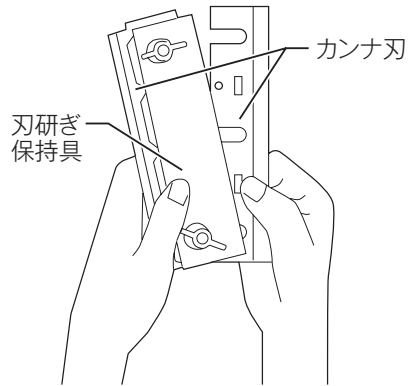
## カンナ刃の研ぎ方

- ・ カンナ刃の研ぎ方は、2枚のカンナ刃を付属の刃研ぎ保持具にセットして水砥石で研ぎます。

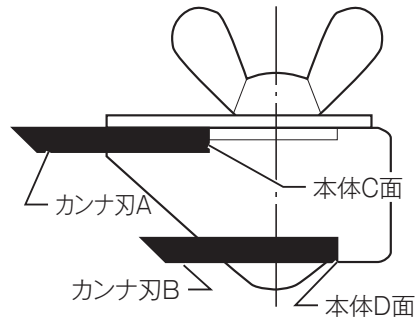
### 注

- ・ 水砥石はご使用前に2～3分くらい水につけてからお使いください。

- ・ カンナ刃を刃研ぎ保持具に取り付けるには、保持具本体の2コのチョウナットをゆるめ、2枚のカンナ刃A・Bが保持具のC面・D面にそれぞれ接するようにセットし、チョウナットでしっかり固定してください。



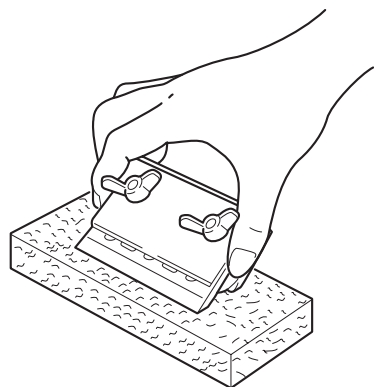
- ・ 右図は刃研ぎ保持具に2枚のカンナ刃をセットした状態です。



- ・ 刃研ぎ保持具にセットした2枚のカンナ刃の研ぎ面が、同時に砥石面に接するように研げば、角度も同時に仕上がります。

### 注

- ・ カンナ刃は常に手入れをして、切れ味のよい状態でお使いください。本製品に無理がかからず能率よく、しかもきれいな仕上がりが得られます。



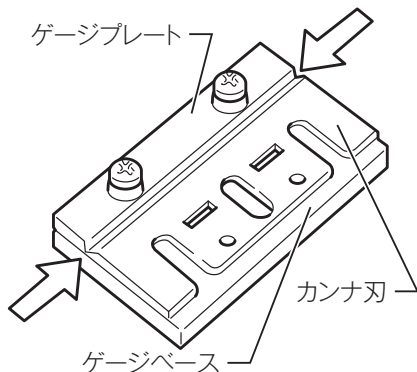
# 使い方

## 刃高調整方法

- ・ 本製品はブレードゲージを使用するブレードゲージ式と調整ネジを使用するセットスクリュ式の2種類の刃高調整ができます。

### ブレードゲージ式刃高調整方法

- ・ 研ぎ終わったカンナ刃はカンナ胴に取り付ける前に付属のブレードゲージで刃高調整をします。
- ・ カンナ刃をゲージベースの上におき、刃先全体をゲージプレートに接するようにしてください。

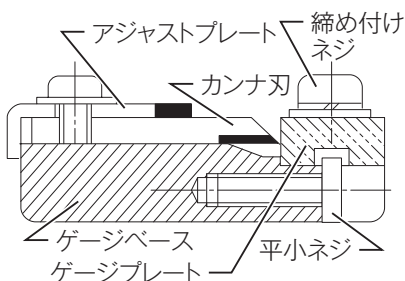


- ・ アジャストプレートの端をゲージベースの端面にあて、カンナ刃の上から指で押さえながら固定ネジをしっかりと締め付けてください。このとき、アジャストプレートをカンナ刃の刃先に向かって軽く押さえながら締め付けてください。



## 注

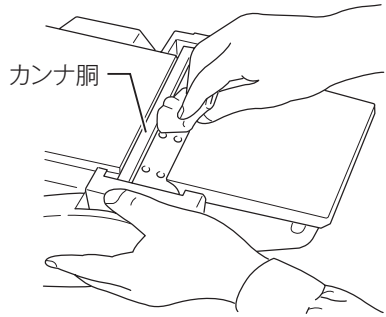
- ・ ブレードゲージは正確に寸法を出してありますから調整の必要はありませんが、万一、刃先がカンナ本製品の定盤面より引込んでいる場合はゲージプレートの締め付けネジをゆるめ、図の平小ネジを回して調整してください。
- ・ 長期間使用してゲージプレートがすり減った場合はゲージプレートの締め付けネジをゆるめ、同じようにして調整してから締め付けネジで固定してください。



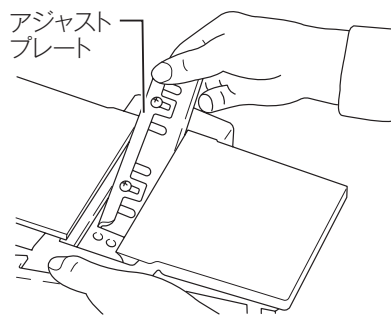
# 使い方

## カンナ刃の取り付け方

- ・ カンナ刃を取り付ける場合は、カンナ胴およびカンナ刃の取り付け面に木屑などが付いていないように、きれいに掃除してください。

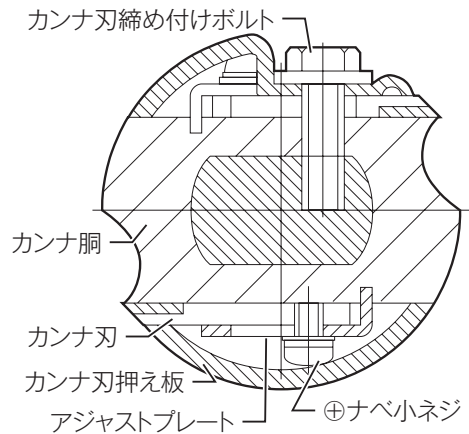


- ・ カンナ刃のアジャストプレートの端をカンナ胴の溝にはめ込み、カンナ刃の上からカンナ刃押え板を置き、取りはずした時の逆の要領で4本の締め付けボルトでしっかり締め付けてください。



## 注

- ・ カンナ刃を取り付ける時は、必ず同一寸法・同一質量の刃を取り付けてください。同一のカンナ刃を使用されないとカンナ胴の振動が大きくなり、きれいな仕上がり面が得られないばかりか、故障の原因となりますのでご注意ください。



# 使い方

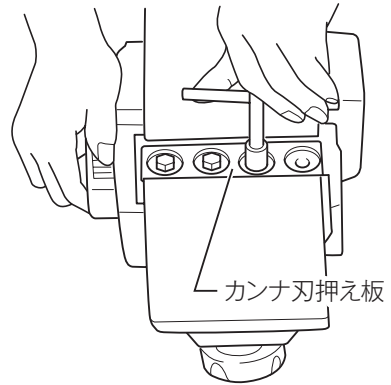
## セットスクリュ式刃高調整方法

### 注

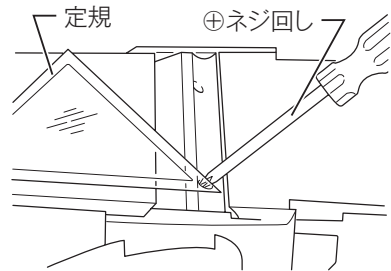
- ・ ブレードゲージ式刃高調整に使用しているブレードゲージ、アジャストプレート、⊕ナベ小ネジは使用しません。

## 調整ネジによる刃高調整方法

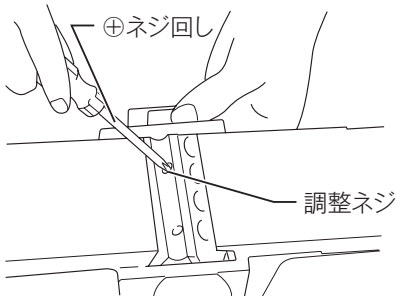
- ・ 付属の調整ネジ 4 本をカンナ胴に取り付けた後、カンナ刃の切欠部を調整ネジの頭に入れカンナ刃押え板をかぶせ、カンナ刃締め付けボルトで軽く締め付けてください。



- ・ 調整は、定規の一边をベースに平行にあて、カンナ刃の刃先がどの部分でも定規の下部に一致するように、⊕ネジ回して調整ネジを左右に回してカンナ刃を調整します。



- ・ 調整できましたら、カンナ刃締め付けボルトを十分に締め付けます。この際、ボルトは一度に強く締め付けず 4 本のボルトを交互に締め、そのつど定規で出具合を再点検、調整しながら締め付けてください。また、カンナ刃を上下させる調整ネジはカンナ刃取り付け後、必ず締め付けてください。



# 使い方

## 替刃式

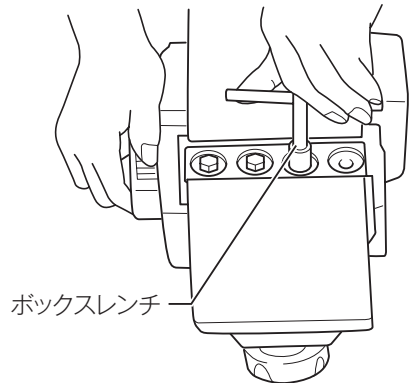
### ⚠ 注意

カンナ刃の取り扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。

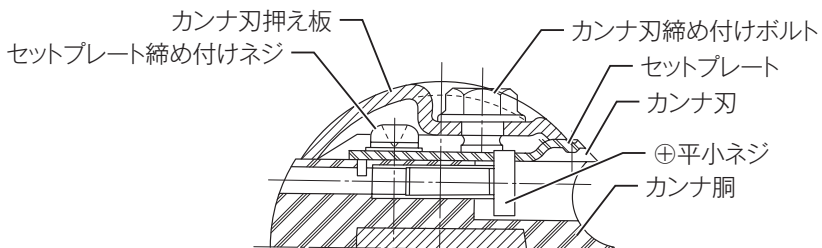
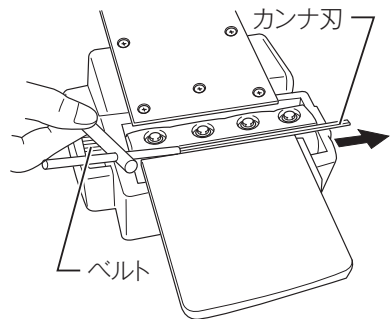
- ・ 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。

### カンナ刃の取りはずし方

- ・ カンナ胴の4本のカンナ刃締め付けボルトを付属のボックスレンチで1回転ゆるめてください。



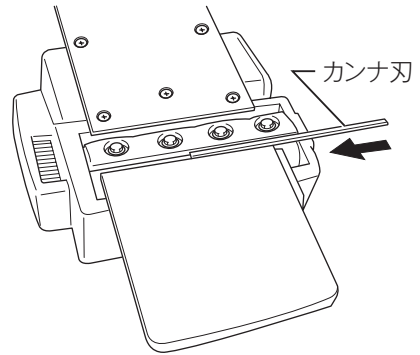
- ・ カンナ刃をベルト側よりボックスレンチの柄で押して取りはずしてください。
- ・ 反対側のカンナ刃も同様に取りはずしてください。



# 使い方

## カンナ刃の取り付け方

- ・ 反ベルト側よりカンナ胴とセットプレート間にカンナ刃を挿入します。
- ・ 4本のカンナ刃締め付けボルトをボックスレンチでしっかり締め付けます。



## 注

- ・ カンナ刃の反対側を使用される場合は、刃に付着したヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。
- ・ カンナ刃は、正確に寸法を出してありますから調整の必要はありませんが、万一、刃先がカンナ本製品の定盤面より引込んでいる場合、出過ぎている場合は、カンナ刃締め付けボルトとセットプレート締め付けネジをゆるめて⊕平小ネジを回して調整してください。調整後は、セットプレート締め付けネジ、カンナ刃締め付けボルトを締め付けてください。

# 使い方

## カンナ仕様の変更について

- ・ 本製品は、下記の部品を交換することによって、替刃式を研磨式に、また研磨式を替刃式に変更できます。

カンナ仕様を変更される場合は、下記部品をお買い求めください。

### 仕様変更に必要な部品

替刃式	研磨式
1805N	1805N
セットプレート 155 . . . . . 2	アジャストプレート . . . . . 2
カンナ刃 (155 mm) . . . . . 2	ブレードゲージ . . . . . 1
⊕ナベ小ネジ M4 × 10 . . . . . 4	⊕ナベ小ネジ M4 × 5 . . . . . 4
⊕平小ネジ M5 × 13 . . . . . 4 (研磨式 (標準付属品))	カンナ刃 (155 mm) . . . . . 2
1804N	1804N
セットプレート 136 . . . . . 2	アジャストプレート . . . . . 2
カンナ刃 (136 mm) . . . . . 2	ブレードゲージ . . . . . 1
⊕ナベ小ネジ M4 × 10 . . . . . 4	⊕ナベ小ネジ M4 × 5 . . . . . 4
⊕平小ネジ M5 × 13 . . . . . 4 (研磨式 (標準付属品))	カンナ刃 (136 mm) . . . . . 2

## スイッチの操作

### 警告

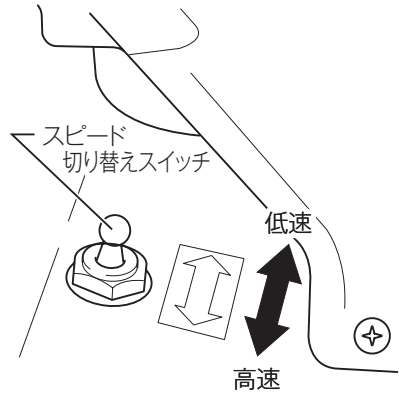
電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し、事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、放すと切れます。スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を放しても引金が固定され連続運転します。  
停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を放してください。

# 使い方

## スピード切り替えスイッチの操作 (モデル 1804N)

- ・ スピード切り替えスイッチを「高速」にセットしますと高速回転になり、「低速」にセットしますと低速回転になります。



### 注

- ・ スイッチを入れた状態でスピードを切り替えますと、故障の原因となります。

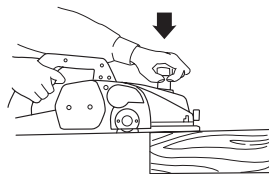
## 削り方

### ⚠ 注意

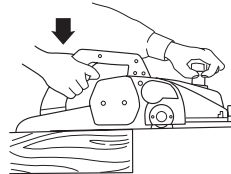
作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れしないでください。

- ・ カンナ刃が回転し、けがの原因になります。
- ・ カンナ刃が木材に当たらない位置でスイッチを入れ、回転が一定になりましたら、本製品が木材の上を滑らかに動くように静かに前へ進めます。削り始めや終わりは下図のように矢印方向に力を入れて削ってください。

削り始め



削り終わり



- ・ 美しい仕上面を得るには、始めのうちは切削量を深くして荒削りをし、仕上げるときは浅めにして使用するのが理想的です。



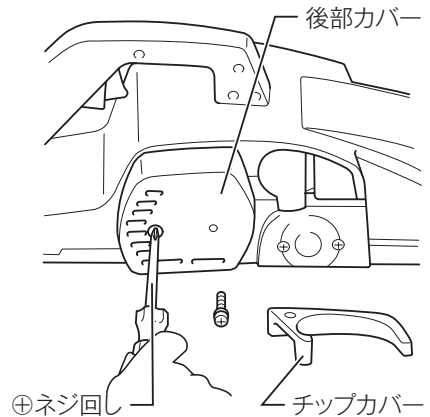
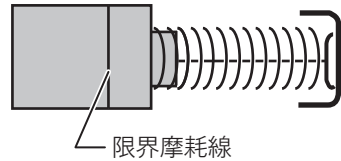
## ⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

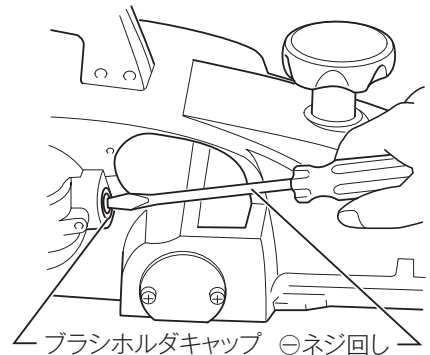
- ・ プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

## カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。  
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩擦したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。  
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ ⊕ネジ回しでチップカバーと後部カバーを取りはずしたのち、⊖ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずします。



- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。  
カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替える場合は、必ず左右とも同時に行ってください。



## 保守・点検について

### ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。



881003G1  
IWT

株式会社マキタ  
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711 (代表)